

はまなす園新型コロナウイルス感染クラスターのご報告

厚田はまなす園 中村修一

厚田はまなす園における新型コロナウイルス感染では、江別保健所・石狩市市保健福祉部障がい福祉課・石狩振興局お力添えサポートをしていただき、同じ石狩市の障がい者施設生振の里様・道央知的協会からお見舞い等いただき大変感謝しております。

はまなす園での新型コロナ発生は、8月19日夕食後に利用者さん1名が発熱し、抗原検査で陽性となり、その日の夜勤の職員1名も抗原検査で陽性となりました。その利用者さんを別棟での隔離対応とし、陽性となった夜勤職員には退勤してもらいました。厚田はまなす園新棟の2つのユニットをゾーニングして対応しました。

その後、1日1名ずつ感染していき8月24日には利用者さん7名、職員6名が陽性者となり、クラスター認定の為、石狩現地支援対策本部（石狩振興局、石狩市、江別保健所、厚田はまなす園）が設置され、週2回オンラインによる対策会議が開催されました。

25日午後には、利用者12名、職員7名が陽性者となりました。

27日には利用者15名、職員12名が陽性者となりました。

28日には利用者16名、職員12名陽性者となりましたが、28日以降新たな感染者は発生しなかった。（陽性者は総計28名）

31日より、陽性となった職員が療養期間を終え、随時、現場復帰となっています。

新棟の各ユニットも9月4日、9月9日に随時、自粛期間が終了し、9月12日からは通常通り、生活介護を再開しています。

新型コロナウイルスが起ってから期間、ずっとご家族の皆さまには、何かと自粛のお願いを申しており、このようなクラスターになったことを大変申し訳なく思っております。不幸中の幸いとして、重症化した利用者さんがいなかったことと、はまなす園ももう一つの棟の西棟への感染を防ぐことが出来たことが何よりだと思っております。

利用者さんが安心して暮らしに戻れるように職員一同努力していく所存であります。

この新型コロナウイルスの感染による症状としては、利用者さんみなさん1日～2日発熱38度台が出ています。また、症状の強弱はありますがほとんどの方が咳や鼻水が見られ、咳き込みが多い方2名の方が厚田中央クリニックからの処方を受けております。

1名の方が血液中の酸素量（サチレーション）が低く救急車を呼びましたが、救急隊がしばらく様子を見て、状態から江別保健所から酸素ボンベを借りる対応となりました。以降酸素ボンベを使用するような状態にはならず、順調に回復していきました。

その他の陽性となった利用者さんの症状としては、表情は悪くないのですが下痢症状で夜中トイレにいた方や一度だけ目の痛みを訴える方もいましたが、悪化することなく過ごしています。職員の中には味覚や臭いがあまりわからなくなる職員がいましたが、

味覚の変化なども症状にあるということなので、利用者さんにつきましては、食事やおやつなどでの確認をしていますが、行動としてはいつもと変わらない様子で過ごしております。

今回のクラスターについて保健所の見解では、8月19日に発病していますが、その数日前から感染が起きており、当初から新棟全体に感染するといわれていました。施設側としては、抗原検査で陰性が確認できた利用者さんと陽性者とは隔離をして広がらない対応をしていたつもりですが、結果として新棟全体のクラスターとなってしまいました。

また、職員にも感染者がおおく、個人用防具服（不織布ガウン・キャップ・n95マスク・フェイスガード・手袋）を着用していましたが、着用したままでの当直時の仮眠や鍵・連絡手段である事業所の子機電話・個人携帯などジップロックに入れて消毒などとして使用しておりましたが、それらがコロナウイルスの感染を広げる要因の一つとも考えております。

今回は西棟には感染がおこることなく過ごすことができましたが、感染に関して社会的には規制が緩くなっていく一方ではあります。今後も職員の体調管理の徹底などとしていき予防に努めたいと思います。